

中川運河チャンネルアート

報告書

目次

- ①人材発掘・育成事業
名古屋地域まちづくり協議会回遊性向上プロジェクト企画
- ②地域共創シンポジウムにおける成果報告
- ③人材育成のためのカリキュラム作成

人材発掘・育成事業

名古屋地域まちづくり協議会回遊性向上プロジェクト企画

内容・目的

- 名古屋市におけるまちづくり協議会の連携を強化し、発信力を高め、交通まちづくり人材を育成する。
- 名古屋の交通インフラに興味を持つ人の数を増やすこと。
- 令和6年1月に「第1回地域共創シンポジウム」を開催し、その結果を発表する。

企画1

Su__ilに乗ってロケ`イニク`（中川運河エリア）

実施日

2023年12月3日

（予備日2023年12月9日）

開催時間

9:00～12:00（ゲーム時間制限は120分）

内容

愛知県で活動するインフルエンサーと共に、ロゲイニングというスポーツで
（株）crystal協力のもと、電動キックボードを使用して実証実験を行う。

ゲーム参加者

インフルエンサー8名と一般参加者3名の合計11名

（インフルエンサー：20代男性×5名、20代女性×3名

一般参加者：20代男性×1名、20代女性×2名）

ロゲイニングとは

スポットにチェックポイントとして得点を設定し、制限時間内に回ったチェックポイントの合計得点で競うゲーム。

ゲーム内容

- ・中川運河エリアを含めた名古屋市内の観光スポットをチェックポイントとして数多く設けて得点を設定し、制限時間内に回ったチェックポイントの合計得点をチーム対抗で競う。
- ・チェックポイントは運営チームが`あらかじめ`め用意したマップ`に記載されており、参加者はマップ`を見て自分で`行き先を決める。
- ・Su__ilに乗って、中川運河エリアを次々と移動しながら`らケ`ームを楽しむ。
- ・マップ`に記載された写真と同じ`場所で`同じ`写真を撮影て`きれは`得点となる。終了後、得点を集計し優勝者に商品券をフ`レセ`メントする。

発信・想定リーチ(視聴者数)

イベント参加中はインフルエンサーがSNSでの発信し認知拡散を必ず行う。
SNSでの想定リーチ数は合計20万人

記録

1チームには必ず「インフルエンサーが」同行し、チーム中にスマートフォンで「参加者の様子を撮影する。全チームの動画素材をつなぎ「合わせフ」ロモーション用動画を1本制作。
(YouTube用横長動画)

結果

「第1回地域共創シンポジウム」リレートーク内で報告

- ・開催日 2024年1月27日
- ・場所 中京テレビ プラザC
- ・時間 13:00~17:00

シンポジウムではインフルエンサーが制作した実証実験の動画を流し、当日のイベント風景や、SNSへの検索リーチ数の発表を行った。

実証実験当日のイベント時の発信に対して、リーチ数は327,000リーチ。

1日約2時間のイベントで発信したのみで327,000のヒットはピンポイントではあるが、少なくないと考える。投稿へのコメント欄には「こんな乗り物があったんだ!」という声も多数あった。

今回の実証実験に帯同して感じたのは、まず、電動キックボードの手軽さ。道路交通に基づき安全に気を付けて走行するのは当然だが、移動する楽しみもプラスされる要素となる。

白川公園をスタート地点として、ささしまエリア→中川運河エリア→大須エリア→東別院→ゴール白川公園と120分移動してチェックポイントを回っても、然程大変ではなく、十分移動手段のツールとして活用できる。名古屋駅から笹島や中川運河へのラストワンマイルには最適な乗り物である。最近では名古屋市内の街中でもスーツを着た人々が電動キックスケーターに乗って移動しているのを目にする。日常で老若男女が活用する日も遠くないと思うが、まずは名古屋市内の観光名所などを電動アシストで巡る、タクティカルなまちづくりが必要不可欠である。



企画2

SNS用PR動画制作

内容

インフルエンサーのMaru【全国旅する愛知県民】さんにご協力いただき、SNSでの発信により、回遊性の可能性の認識を広める。

インフルエンサー

Maru【全国旅する愛知県民】

・フォロワーは東海地方在住の20代～40代の男女が中心

・SNS総フォロワー110万人

■Instagram(フォロワー 21.6万人)

<https://www.instagram.com/marurincho.official>

■TikTok(フォロワー 33.5万人)

https://www.tiktok.com/@marurincho.official?_t=8gNBSpEcZR&_r=1

■YouTube(チャンネル登録者 8.65万人)

<https://www.youtube.com/@marurincho.official/videos>

投稿媒体

- ・Instagram
- ・TikTok
- ・YouTube

投稿

- ・各イベントにつきSNS用ショート動画を1本制作
(「Su__i編」、「中川運河SUPまたは堀川クルーズ 編」の2つのイベントを企画)
- ・編集が 必要なため取材日より1週間～2週間程度
- ・発信・想定リーチ(視聴者数) 想定リーチ 27.5万人
SNS用PR動画制作×2本 想定リーチ 合計55万人



marurincho.official フォロー中 ▼ メッセージを送信 ...

投稿554件 フォロワー21.6万人 フォロー中282人

Maru【全国旅する愛知県民】

👤 3,596,446

観光案内所
東海エリアをメインに
全国の「休日に行きたい旅先」をご紹介
旅と自然とカフェが好き！

次のお休みに「ぜひ行ってみて👉」

実は最近カフェをオープンしました！
@cafe_maru_endoji

総フォロワー110万人突破！
各SNSは下記のリンクにて
お仕事のご依頼等はDM又はメールへ！
🔗 www.tiktok.com/@marurincho.official?_t=8gNBSpEcZR&_r=1 + 2

フォロワー: kanazawa_date.site、travelife_couple、iruy5_777、他98人

【Su__i編】

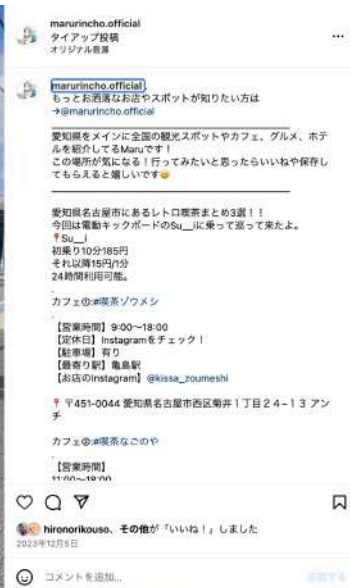
取材日

2023年10月下旬～2023年11月下旬

内容

本人が `Su__iに乗って、名古屋市のまちつ `くり協議会エリアにあるスホ `ットを数か所散策。Su__iの機能や料金、利便性など `も紹介。

SNS用ショート動画



【中川運河SUPまたは堀川クルーズ `編】

取材日

SUP: 2023年11月4日(中川運河SUP大行進イベント2023)

クルーズ: 2023年11月上旬～12月上旬(通常運航日)

内容

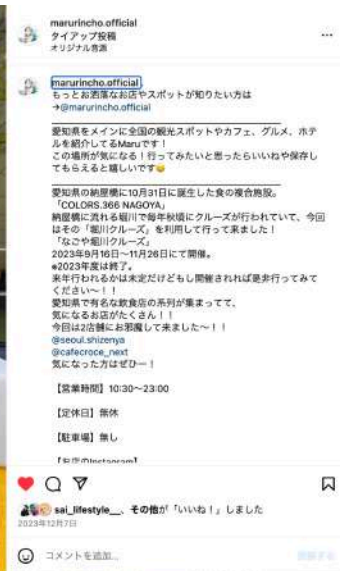
2023年11月4日(中川運河SUP大行進イベント2023)の場合

本人が `イベントに参加し、その様子をスマートフォンで `撮影。運河でSUPができることを伝える。

2023年11月下旬～2023年12月上旬(通常運航日)の場合

なこ `や堀川クルーズ `に乗船し、その様子をスマートフォンで `撮影、川の魅力を伝える。

SNS用ショート動画

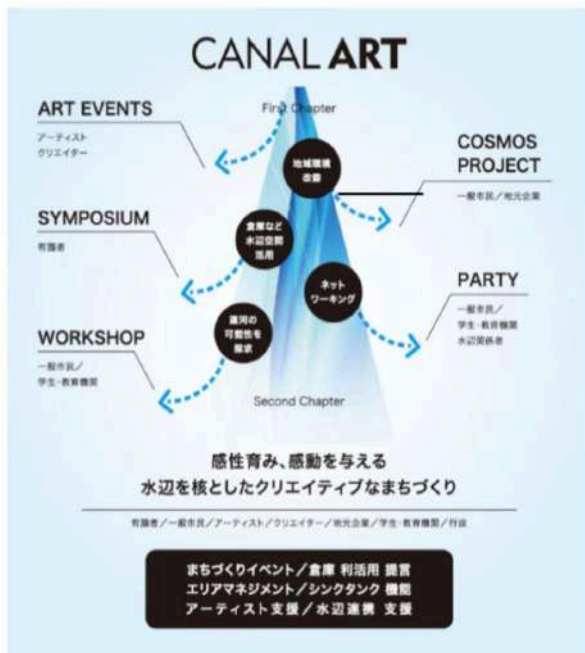


PR結果

アカウント	アカウントリンク	種類	リーチ	備考
Maru【全国旅する愛知県民】	https://www.instagram.com/marurino_official/ https://www.tiktok.com/@marurino_official?is_from_webapp=1&sender_device=pc https://www.youtube.com/@marurino_official	Su_i紹介・動画投稿 (Instagram)	80,001	14.8万回再生
		Su_i紹介・動画投稿 (TikTok)	13,014	1.4万回再生
		Su_i紹介・動画投稿 (YouTube)	42,000	1.2万回再生
		堀川クルーズ紹介・動画投稿 (Instagram)	142,299	25.0万回再生
		堀川クルーズ紹介・動画投稿 (TikTok)	30,196	3.4万回再生
		堀川クルーズ紹介・動画投稿 (YouTube)	59,000	2.3万回再生
ドコいく愛知県民	https://www.instagram.com/dokoiku_aichikenmin/	ロゲイニング企画・当日ストーリーズ投稿	86,575	4投稿
やまたび名古屋デートプラン	https://www.instagram.com/yamatabi_date/	ロゲイニング企画・当日ストーリーズ投稿	36,200	3投稿分
あみれお 東海デートプラン	https://www.instagram.com/amireo_date/	ロゲイニング企画・当日ストーリーズ投稿	32,796	4投稿分
うさナビ カップルデートスポットグルメ 旅行	https://www.instagram.com/usanavi_date/	ロゲイニング企画・当日ストーリーズ投稿	17,667	4投稿分
			19,048	4投稿分
			合計リーチ	658,796

地域共創シンポジウムにおける成果報告

発表資料



中川運河キャナルアートの活動

- 中川運河を使った屋外イベント
- 倉庫を使った屋内イベント
- シンポジウム、パーティなどの交流イベント
- ワークショップ等の教育イベント
- 地域的美観、修景活動



水辺の魅力を活かした屋内コンサートや屋外イベント



地域の美観活動



シンポジウム、パーティー

私たちに足りていないのは
「共創」

周知が進まない理由

- アクセスの利便性
- 他団体とのコミュニケーション
- まちづくりの人材不足



@全国を旅する愛知県民
Maru

インフルエンサーとSNSで発信

電動キックボードを利用した 回遊性向上プロジェクト

- 電動キックボードを使用(株式会社Crystal)
- 愛知県で活動しているインフルエンサー
- ロゲイニングを開催
- チーム対抗戦で名古屋市内のチェックポイントを巡る
- チェックポイントの魅力発信
- 中川運河・名古屋城・鶴舞エリアを回遊

327,000リーチ

PR結果は1日のイベントで

「こんな乗り物あったんだ！！」

移動に楽しさが必要だ！

人材育成のためのカリキュラム作成

チャンネルアートの役割

地域理解と歴史の学習

- 中川運河の歴史や地域の特徴についての基本的な知識を提供する。
- 地域の歴史的な変遷や文化的な背景を理解し、プロジェクトのコンセプトと関連づける。

アートとクリエイティビティ

- アーティストやクリエイターとしてのスキルを発揮できる場を提供する。
- 音楽、美術、デザインなどの分野において、ワークショップやクラスを提供する。

プロジェクトマネジメントとイベント企画

- アートイベントやシンポジウムの企画・運営に参加し、必要なスキルを身につける。
- プロジェクトの進行管理や協力関係を構築する。

地域社会との連携強化

- 地元の住民と協力し、地域社会との連携やコミュニケーションスキルを向上させる。
- 地元の歴史や文化を尊重し、プロジェクトが地域社会にポジティブな影響を与える。

持続可能性と環境に配慮

- 水辺再生プロジェクトの中で持続可能なアートの創造に焦点を当てる。
- 環境への配慮やエコフレンドリーなプラクティスを導入し、地域の環境に対する意識を高める。

国際視野の拡大

- 世界の水辺再生の成功例や異なる文化への理解を促進するためのワークショップや交流プログラムを提供する。
- 国際的なアーティストや専門家との連携を通じて、世界とのネットワーキングを促進する。

プレゼンテーションとコミュニケーションスキル:

- アイディアやプロジェクトを効果的に伝えるためのプレゼンテーションスキルを磨く。
- グループ内外での効果的なコミュニケーションスキルの向上を図る。

これらの要素を組み合わせ、実践的なアート活動と地域社会との連携を通じて、参加者が中川運河チャンネルアートの使命を理解し、具体的な貢献ができるようにする。また、適宜評価とフィードバックを行い、プログラムの改善を進める。



SDGs11「住み続けられるまちづくり」

1: 地域の魅力を発見する

- 地域の歴史や文化、自然環境など、魅力的な要素の発見と共有を行う。
- フィールドワークや専門家講義を通じて、地域のポテンシャルを理解する。

2: 地域参加型プロジェクトの企画・実行

- 地元の中学生・高校生と協力し、美観活動や地域イベントを企画・運営するスキルを身につける。
- チームビルディングやプロジェクトマネジメントの基本を学ぶ。

3: ランドスケープ研究と持続可能性

- ビジョン的なランドスケープ研究を行い、持続可能なまちづくりの考え方を理解する。
- 環境に配慮したアートやデザインの手法を学び、SDGsに基づいたプロジェクトの創造力を高める。

4: リカレント教育と地域への貢献

- リカレント教育に興味を持つ人たちを対象に、地域社会における教育プログラムの企画と実施スキルを磨く。
- 地域社会に貢献するための様々な手法やツールを学ぶ。

5: 新規アイデアのプロトタイピング

- 参加者は持っているアイデアを整理し、具体的な成果物を生み出すスキルを身につけ、プロジェクトの実現可能性を向上させる。
- フィードバックセッションを通じて、他のメンバーの視点を取り入れ、プロトタイプの向上を図る。

中川運河キャナルアートは、参加者や地域社会に向けて発信し、プロジェクトの意義やSDGs11への貢献を明確に伝えていく。

これによって共感呼び起こし、プロジェクトをより広く支持してもらえるようにしていく。



イノベーターを育成する

1: ビジョンの示し方と中長期的な視点

- イノベーターとしてのビジョン構築法や、長期的な視点を持つためのツールや技術を学ぶ。
- 実例やケーススタディを通じて、未来志向のリーダーシップを理解する。

2: 新しい考えや方法論の導入

- クリエイティブ思考やデザイン思考などの手法を学び、問題解決と革新的なアイデアの創造を促進する。
- チームでのブレインストーミングやアイデアの発展に焦点を当てる。

3: 協働と創発の促進

- チームを動機付け、対話ベースで意見を引き出し、オープンなコミュニケーションの重要性を学ぶ。
- 創発的なアイデアや新しいプロジェクトが生まれる環境を構築する手法を磨く。

4: プロジェクトリーダーシップの実践

- プロジェクトマネジメントの高度なスキルを身につけ、リーダーシップの実践を通じてプロジェクトを成功に導く方法を学ぶ。
- チームワークやリーダーシップの課題に対処するワークショップを実施。

参加者が実践的なスキルを身につけつつ、地域社会やプロジェクトに対して持続的な影響を与えられるように構築していく。

